

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大村市社会福祉協議会 保育所等訪問支援事業所スキップ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月15日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	14園	(回答数)	13園
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援事業所として、相談支援事業所と連携がとりやすい体制にある。	保育所等訪問支援事業所の連絡会等にも出席	定期会議全部の参加は難しいがなるべく参加する。
2	自立支援協議会等との連携がとりやすい。	部会参加はしていないが、メール等で情報提供を受けている。	情報提供内容の確認を逐次行う。
3	医療・保健・福祉の連携がとりやすく、こども関係部署との連携もとりやすい。	今後も継続して連携に努め、各種研修会にも参加する。	より顔の見える関係を継続する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数が少なく内部での検討ができにくい	訪問職員の増を図る必要はあるが、事業所として検討が必要	増員等についても検討が必要。
2	職員が病欠等になると訪問ができなくなるのでその際の調整が難しい。	訪問日の変更は次の訪問日を再度決める必要があるので、毎回工夫が必要。	なるべく前もって連絡できる訪問日決定に心がけている。
3	訪問時に連絡必要な場合にスムーズに連絡できない事がある。	基本訪問先での連絡は無いが、起こった場合の対応検討が必要	携帯利用等の検討を行う。